

JA 柏崎自己改革工程表（平成28年度～30年度）

3年後の成果目標

①担い手経営体の面積シェア 60%	③販売品取扱高(合計額) 3%アップ(33億円)	⑤食農教育活動参加成人人数 500名
②正組合員戸数 8000戸キープ	④園芸の販売品取扱高 10%アップ(1.3億円)	
	園芸作付面積 10%アップ(40ha)	

成果目標実現に向けた 重点施策と3年後の目指す姿		年次別工程(実施具体策・到達目標)	
		平成29年度振り返り	平成30年度上期振り返り
地域農業の担い手の育成・支援	担い手経営体を育成し、6割の生産をカバーする。	○TAC担当4名による、担い手経営体への育成支援 資金融資による上期農業融資 104件 335,828千円 ○新規就農の生産者へ青年就農給付金を活用するための相談 面接を行っている。29年(12名)	○TAC担当4名による、担い手経営体への育成支援 資金融資による上期農業融資 29件 99,723千円 ○新規就農の生産者へ青年就農給付金を活用するための相談 面接を行っている。30年(12名)
	評価指標：担い手経営体の面積シェア	目標：58% (実績：60.1%)	目標：60% (実績：63.4%)
	担い手経営体に対するJAのTAC活動を強化し、所得向上の支援をする。	○TAC担当4名が単収の少ない生産者をリストアップし、収量向上を図り所得確保の相談を行った。(各担当4名) ○JA役員とTAC担当者4名で担い手農業者へ個別訪問 担い手農業者 161件 訪問件数 145件	○TAC担当4名が単収の少ない生産者をリストアップし、収量向上を図り所得確保の相談を行った。(各担当4名) 重点訪問先 12件
	評価指標：個別相談	目標：24件 (実績：145件)	目標：36件 (実績： -)
生涯現役・一生農業運動を展開し、多様な担い手を確保する。	生涯現役・一生農業運動を展開し、多様な担い手を確保する。	○定年帰農者向け畑作講習会 ○正組合員の減少対策として総合情報データベースを活用し 組合員家族等リストアップしアプローチを行う(下期)	○定年帰農者向け畑作講習会 ○正組合員の減少対策として総合情報データベースを活用し 組合員家族等リストアップとと共に具体的対応を検討した。 (一戸複数正組合員化)
	評価指標：正組合員戸数	目標：8,100戸以上 (実績：7,619戸)	目標：8,000戸以上 (実績：7,646戸)

成果目標実現に向けた 重点施策と3年後の目指す姿		年次別工程(実施具体策・到達目標)	
		平成29年度振り返り	平成30年度上期振り返り
園芸生産の拡大	園芸重点8品目の生産拡大を40haを達成する。	○玉ねぎ乾燥調製機・定植機・収穫機、枝豆収穫機を導入 玉ねぎについては定植・収穫機械を貸出(収穫6ha(100t) 定植9.5ha) 乾燥調整については100t処理 枝豆は調整荷受け量で14t処理 作付け10haに増加 予冷庫は玉ねぎ100t出荷内7t予冷庫で保管 ○大規模農家、生産法人を中心に作付け普及推進	○玉ねぎ乾燥調製機・収穫機を新たに1台導入予定 玉ねぎについては定植・収穫機械を貸出 定植9.0ha 乾燥調整については106t処理(内9t予冷庫で保管) ○枝豆、色彩選別機導入 枝豆の作付けは15.9haに増加 調整荷受け量で25t処理 A品出荷14.6t ○大規模農家、生産法人を中心に作付け普及推進
	評価指標：重点品目作付面積	目標：34ha (実績：27.8ha)	目標：40ha (上期実績：34.0ha)
	食農教育の推進を目指し学校給食供給率の拡大	○実績 学校給食納入 28品目 28t 出荷(玉ねぎ出荷増) 供給率 57.0%	○上期 学校給食納入 11品目 6.9t 出荷 供給率 50.0%
	評価指標：供給率	目標：80% (実績：57.0%)	目標：85% (実績：50.0%)
農産物直売所を生産現役・一生農業運動の拠点と位置づけ、地場農産物の売上げを2割アップする。	農産物直売所を生産現役・一生農業運動の拠点と位置づけ、地場農産物の売上げを2割アップする。	○29年愛菜館 地場産農産物売上 地場野菜販売 計画 88,000千円 計画比95.0% 地場野菜販売 実績 83,578千円 前年同期 87,588千円 前年比95.4% ・利用組合員へのJA育苗ハウスの貸付け 1件 ・イベント実施 本年開催日数 51日 販売金額 56,705千円 前年開催日数 48日 販売金額 60,971千円	○29年愛菜館 地場産農産物売上 地場野菜販売 計 画 89,000千円 計画比 52.7% 地場野菜販売 上期実績 46,958千円 前年同期 46,683千円 前年比100.5%
	評価指標：直売所販売高	目標：1億400万円(29年実績：1億1,142万円) 地場野菜・加工品・工芸品	目標：1億600万円(上期実績：61,221千円) 地場野菜・加工品・工芸品

成果目標実現に向けた 重点施策と3年後の目指す姿		年次別工程(実施具体策・到達目標)	
		平成29年度振り返り	平成30年度上期振り返り
米の品質向上と多様な品揃え	中干しによる確実な生育抑制を図りスリムな稲づくりを目指し1等米比率の高位安定化。	○中干し指導会 88会場 474名参加 ○穂肥指導会 84会場 511名参加 緊急案内 穂肥1回 ○低コスト省力化技術指導会 35名参加	○中干し指導会 77会場 408名参加 ○穂肥指導会 84会場 554名参加 緊急案内 穂肥1回 ○低コスト省力化技術指導会 26名参加
	評価指標：1等米比率	目標：95%以上 (実績：90.9%)	目標：95%以上 (実績： -)
	土づくりによる登熟後半までの稲体活力維持	○土壌分析は1年300ヶ所調査 10月上旬に土づくり指導会4会場 31名参加	○土壌分析は1年300ヶ所調査 10月上旬に土づくり指導会4会場 開催予定
	評価指標：秋すき込み率	目標：25% (実績：31%)	目標：30% (実績： -)
差別化商品としての「こだわり米」の取扱拡大。	差別化商品としての「こだわり米」の取扱拡大。	○早期越路 54.4ha 3,292俵 7割減減 12.8ha 850俵 あきだわら 55.2ha 4,956俵 ○業務用米取組説明会 54名参加	○早期越路 35.5ha 2741.9俵 葉月みのり 8.0ha 544.7俵 7割減減 10.4ha - 俵 あきだわら 51.4ha - 俵 ゆきん子舞 74.6ha - 俵
	評価指標：こだわり米取扱量	目標：9,000俵 (実績：9,098俵 101.1%)	目標：10,100俵 (実績： -)

成果目標実現に向けた 重点施策と3年後の目指す姿		年次別工程(実施具体策・到達目標)	
		平成29年度振り返り	平成30年度上期振り返り
食農教育を核とした地域の活性化	健康への関心が高いことから好評のウォーキングをJAの取り組みとして拡充	○女性部支部で独自ウォーキング開催 6会場 ○下期にJA柏崎秋の味覚満喫ウォーキング開催 10月7日(247名参加)	○女性部全体、支部で独自ウォーキング開催 6会場 下期に4会場予定 ○下期に第3回JA柏崎秋の味覚満喫ウォーキング開催 10月13日予定(300名募集)
	評価指標：上記活動参加者数	目標：400名 (実績：277名)	目標：500名 (実績：103名)
	小学5年生の米づくり体験の支援を充実させる。	○田植7カ所指導 (高柳・鯖石・北条・半田・刈羽・東村山・はまなす) 7カ所 ○稲刈り体験指導(高柳・鯖石) 2カ所	○田植体験指導 7カ所 (高柳・鯖石・北条・半田・刈羽・東村山・はまなす) ○稲刈り体験指導(高柳・鯖石) 2カ所予定
	評価指標：上記活動取組回数	目標：四半期に2回 (実績：19回)	目標：月1回 (実績： -)
地場産品を使った料理講習・食農研修の実施等、食農教育を通じた地域住民の健康増進と絆を深める取り組み。	地場産品を使った料理講習 ○野菜ソムリエ 3会場(愛菜館・刈羽・西山) 11回開催 ○食育ソムリエ 1会場 8回開催 食育プロジェクト	地場産品を使った料理講習 ○食育プロジェクト 3回開催	